

# 《2018年度 聖光学園保育部事業計画》

## 1. 保育園の運営

- (1) 所在地：水戸市新荘1丁目4番8号
- (2) 定員：90名
- (3) 職員数：20名 常勤（9名）：園長1名、主任保育士1名、保育士5名、  
栄養士2名  
非常勤（12名）：保育士9名（内、派遣職員3名）  
調理員1名、事務員1名、保育助手1名  
嘱託医＝石川韶子（小児科）、若松進治（歯科）
- (4) 理事会：6名 理事長＝橘秀紀 理事＝柏村圭二、菅具久美子、菊山紀彦  
椎名豊、松本晴子
- (5) 監事：2名 三品歩、重実静枝
- (6) 評議員：4名：黒澤忍、田内稔人、中村和人、渡辺めぐみ

## 2. 保育目標（前年度を継承する。）

児童福祉法の理念に立ち、キリスト教精神に基づいて、保育を要する幼児を心身ともに健やかに保護育成することを目標とする。

## 3. 保育時間

- 月～金＝午前7時30分～午後7時（午後6時30分～午後7時延長保育）  
（1日につき8時間を原則とし、児童の保護者の状況により伸縮させる）  
土＝午前7時30分～午後6時30分（ただし利用実態によって短縮される場合あり）

## 4. 保育内容

- (1) 年間主題（2018年度）「イエスキリストとともに生きる～愛の交わりの中で～」  
「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、  
わたしたちも互いに愛し合うべきです。」（ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節）

### (2) 年間テーマ「いのち・人権・平和」

～キリスト教保育所同盟ミッション・ステートメントを軸に神の愛の交わりの実現を目指す～

### (3) 保育の内容

社会福祉法改正を一つの契機とし改めて聖光学園の使命及び地域貢献について職員一同が共通理解を持ち、子どもたち一人ひとりの豊かな育ちを見守り支援する環境を整えていく。特に園児の年齢発達状況、季節、保護者の協力などを考慮しつつ、日々の生活において子どもたち一人ひとりが主体的に活動をし、伸び伸びと過ごすことによって心身の成長を果たし、社会性を育ていけるよう援助をする。また保育目標の理念のもとに、養護と教育の一体的保育を行う。また「保育所保育指針」及び「キリスト教保育指針」などに示される保育内容を、現場における児童の年齢発達に即した年間保育計画、月間保育計画、週案、日案を作成し日々の保育の内容とする。

4月：父母の会総会、クラス懇談会

5月：家族の日、親子遠足

6月：花の日（消防署、交番、社会福祉協議会、病院、老人ホーム、近隣高齢者宅などに花を持って訪問）、尿検査、園医による健康診断（石川クリニック、若松歯科医）、歯科指導、個人面談

7月：宿泊保育（年長組）、

8月：各研修会に職員が参加、夏期保育、夕涼み会（父母の会主催）

9月：運動会

10月：遠足、おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう会

11月：収穫感謝祭、保育参観日

12月：クリスマス祝会、卒園生クリスマス会、

- 1月：お餅つき、園医による健康診断（内科、歯科）、尿検査
- 2月：個人面談
- 3月：給食試食会、お別れ会、卒園遠足、卒園式
- ・毎月：お弁当の日（7～9月を除く）、身体測定、避難訓練、誕生会（2ヶ月に1回開催）
- ・年間を通して：保育実習生・職場体験の受け入れ。

(4) 子育て支援拠点事業（小規模）

園庭開放・電話相談を随時行う。ただし補助金事業としては行わない。

(5) 特別保育を行う：一時保育（緊急）

(6) その他

- ・年間を通して週1回、年長、年中児は助川宏子先生による「英語であそぼう」クラスを実施する。

5. 2018年度の展望

職員確保と離職率を下げることは依然として課題であり続けている。保育士を必要とする園数が増え続けている状況での確保と安定はかなり難しいことではあるからこそ、子どもも職員も生き生きと輝ける魅力ある職場となっていくことこそが最優先課題であることがますます明確になってきた年だったと感じている。今後は職員が互いに信頼を寄せながらそれぞれの力を発揮し、且つ互いの足りなさを補い合って理想の保育環境を作り上げていく関係性を作っていきたい。そうすることで共に過ごす子どもたちもまた、それぞれの才能を伸ばしつつ、お互いを認め合いつつ生き生きと育っていくであろうことを期待する。厳しい状況だからこそ、希望ある明日を掲げ、目指していく園でありたいと願う。そのためにもキリスト教保育所同盟ミッション・ステートメントを軸とし、子どもたち一人ひとりの主体性を尊重し育む保育を作り上げていきたい。

以 上